

総合福祉施設体制整備基本計画

第2回 ▶ 旧黒木小学校跡地に計画されている施設とは？

第1回(広報6月号)では、経緯と基本計画の全体像についてお伝えしました。今回は、基本計画を踏まえ、旧黒木小学校跡地(別府拠点)に整備を予定している2つの施設について詳しくお伝えします。

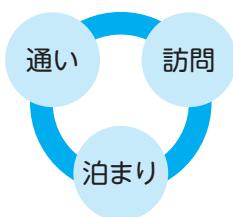
旧黒木小学校跡地に計画されている施設とは？

旧黒木小学校跡地(別府拠点)は、将来的な隠岐島前病院の建て替え候補地の一つでもあります。ここへ新しく小規模多機能型居宅介護事業所を建設し、現在の事業所「本郷」の深刻な老朽化に対応します。さらに、長年の課題であった課税世帯の方の受け皿となる生活支援ハウスを併設し、西ノ島町で最後まで安心して暮らし続けられる環境を整えます。



小規模多機能型居宅介護事業所

サービス内容は、「通い(デイサービス)」「訪問(ホームヘルプ)」「泊まり(ショートステイ)」の3つのサービスを、同じ事業所の顔なじみのスタッフが一体的に提供します。状態の変化に応じて柔軟にサービスを組み合わせることができるため、住み慣れた地域で生活を続けるための在宅ケアの要となる施設です。西ノ島町では、「本郷」がサービスの提供を行っています。



登録定員 29名
(通い:最大18名/泊まり:最大9名)

宿泊室 9室(全室個室)

共用スペース LDK(16名収容想定)
リフト付き個浴、洗濯室

設計の特徴

- 地域住民も立ち寄れる縁側・中庭スペースを設け、地域の交流拠点としても機能します。
- 浴室はリフト付き個浴を設置することで要介護5の方にも対応できます。

こんな方が対象です

要支援1～要介護5、認知症がある方、在宅生活を続けたい方など



生活支援ハウス

一人暮らしや高齢者のみ世帯で「自宅生活に不安はあるが、施設に入るほどではない」という方のための高齢者住宅です。養護老人ホームと異なり、これまで受け皿がなかった課税世帯の方にも対応できます。

建物規模 2階建

住戸数・面積 10室(全室個室)

各住戸の設備 トイレ、洗面、シャワー、ミニキッチン、収納 完備

設計の特徴 1階には以下のスペースを設けることで、ただの高齢者施設だけでなく地域の交流拠点を目指します。

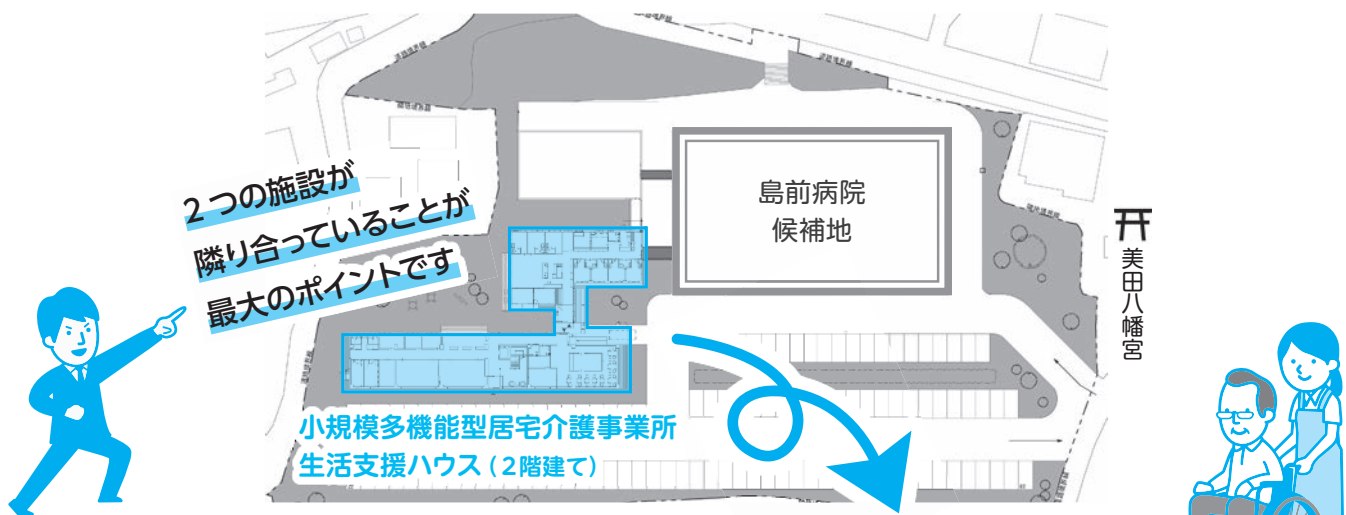
- 社協事務所: 地域福祉の要である社協が入ることで入居者の相談などにも対応できるようにします。
- レストラン: 入居者の日常的な食事スペースだけでなく、イベント開催時には地域住民等に開かれた場所を目指します。
- キッズエリア: 子育て支援や地域活動に活用。多世代交流の場を目指します。

こんな方が対象です

課税世帯の方、要支援1～要介護3、独居・高齢者のみ世帯の方で自宅での生活に不安がある方など



施設の中はどうなっているの？



生活支援ハウス

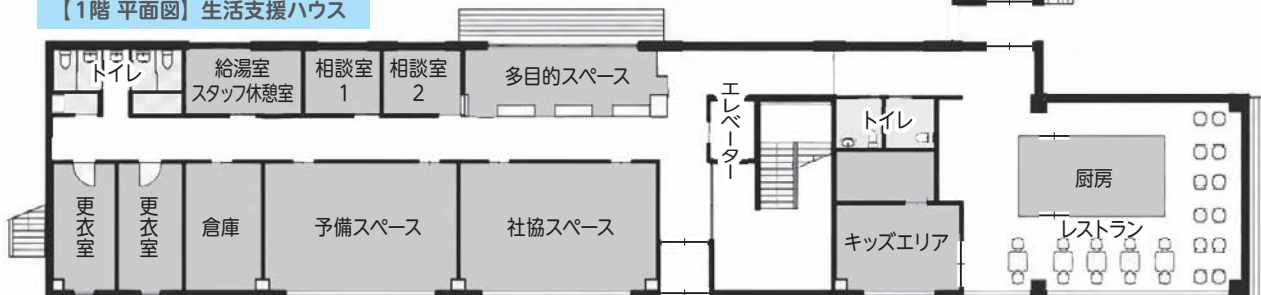
+ 小規模多機能 = 自立から介護まで

生活支援ハウスに入居し、もし介護が必要になったり、認知症が進んだりしても、すぐ隣の小規模多機能のスタッフから訪問・通い・泊まりのサポートを受けることができます。これにより、要介護状態でも、なじみの関係で自分らしい生活を続けることが可能になります。

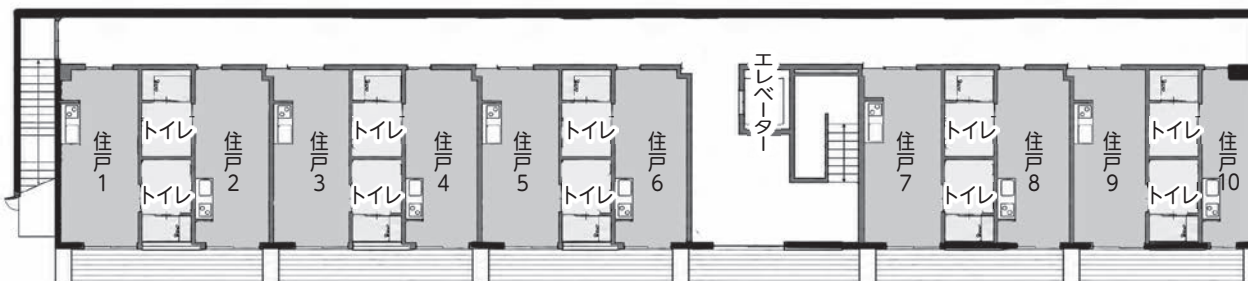
【1階 平面図】 小規模多機能型居宅介護施設



【1階 平面図】 生活支援ハウス



【2階 平面図】 生活支援ハウス



※今回の図面は基本計画での内容であり、今後変更される可能性があります。



【次号予告】 8月号では…

美田拠点のみゆき荘改修計画について、具体的なイメージをお伝えします。

より詳しく知りたい方は…

西ノ島町のホームページに、基本計画の本編及び概要版を掲載しております。

